

EVERチャート 操作ガイド

目次

はじめに	1.1
ご利用にあたって	1.2
パソコンの動作環境	1.2.1
ご利用可能時間	1.2.2
インストール	1.2.3
起動方法	1.2.4
画面構成	1.3
ホーム画面	1.3.1
メニュー画面	1.3.2
アプリケーションメニュー	1.4
チャート	1.4.1
設定画面	1.4.1.1
銘柄リスト	1.4.2
シミュレーション	1.4.3
操作ガイド	1.4.4
ログアウト	1.4.5
バージョン情報	1.4.6
設定メニュー	1.5
画面設定	1.5.1

「EVERチャート」操作ガイド

EVERチャートで「株価のいま」を確認しよう

はじめに

「EVERチャート」は合計70種類のチャート機能を搭載した、分析力・カスタマイズ性・デザイン性に富んだ高機能チャートです。本書は「EVERチャート」の操作ガイドです。

特長

1. OS/ブラウザの制約なしで利用可能！（※推奨環境あり）
2. 登録可能銘柄数は最大250銘柄
3. 合計70種類の豊富なテクニカル分析

更新履歴

#	更新日時	内容
1	2020/12/14	初版
2	2021/05/31	改訂
3	2021/09/27	改訂
4	2021/12/16	改訂
5	2022/03/03	改訂
6	2022/09/08	改訂
7	2023/03/09	改訂
8	2023/06/15	改訂
9	2025/02/01	改訂

Powered by Garage Standard Inc.



ご利用にあたって

本項では以下の項目について記載しています。

項目	
パソコンの動作環境	EVERチャートの起動に必要なパソコンの動作環境を記載しています。
ご利用可能時間	EVERチャートのご利用可能な時間について記載しています。
インストール	EVERチャートのインストール手順について記載しています。
起動方法	EVERチャートの起動方法について記載しています。

パソコンの動作環境

Windows環境

#	必要環境
OS	Windows 10以上
ブラウザ	Chrome（最新版）
	Microsoft Edge（最新版）
	Firefox（最新版）
CPU	デュアルコア2GHz以上（i3/i5/i7またはAMD相当）
メモリ	32ビットバージョン：推奨2GB
	64ビットバージョン：推奨4GB
回線	ブロードバンド接続（ADSL、光ファイバーなど）
モニター解像度	幅1024ピクセル×縦768ピクセル（XGAサイズ）以上
利用ユーザ	管理者権限をもつアカウントでご利用ください。
その他	CSSを有効
	JavaScriptを有効
	Cookieを有効（セッションCookie）
	ポップアップウィンドウを有効

macOS環境

#	必要環境
OS	macOS X 10.x以降
ブラウザ	Chrome（最新版）
	Safari（最新版）
	Firefox（最新版）
CPU	1GHzプロセッサ以上
メモリ	500MB以上
回線	ブロードバンド接続（ADSL、光ファイバーなど）
モニター解像度	幅1024ピクセル×縦768ピクセル（XGAサイズ）以上
利用ユーザ	管理者権限をもつアカウントでご利用ください。
その他	CSSを有効
	JavaScriptを有効
	Cookieを有効（セッションCookie）
	ポップアップウィンドウを有効

ご利用可能時間

24時間

- 週末などにシステムメンテナンスを実施するときはご利用いただくことはできません。
- また、下記時間は情報が取得できない場合があります。その場合は「チャートデータがありません」と表記されます。時間を空けて再度お試しください。

キャッシュクリア

毎日：08:00頃

インストール

Windows環境

1. 三菱UFJ eスマート証券のお客さまページより「投資情報」→「情報ツール」→「EVERチャート」をクリックします。



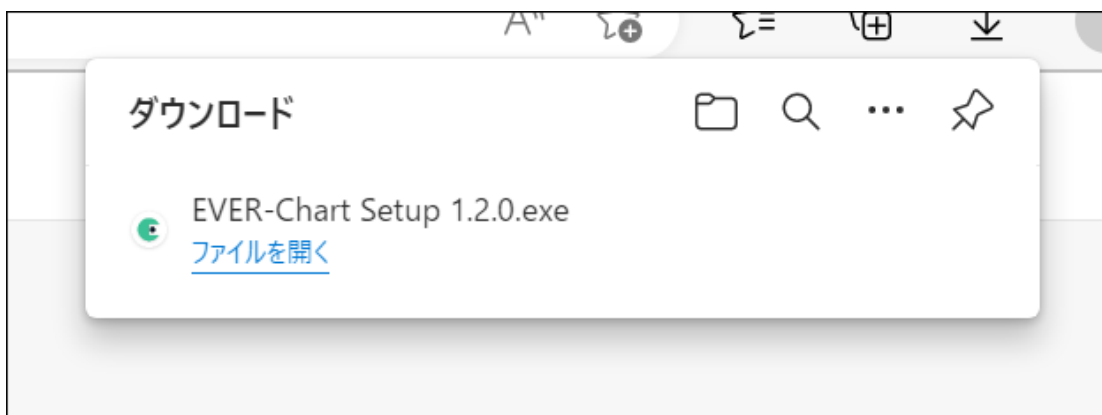
2. お客さまのPCに合わせてインストーラをダウンロードしてください。



3. ダウンロードが完了したら、画面上に表示されるダウンロードバーからインストールを開始してください。

- Microsoft Edgeの場合

「実行」 ボタンをクリックします。



- chromeの場合

「開く」 をクリックします。

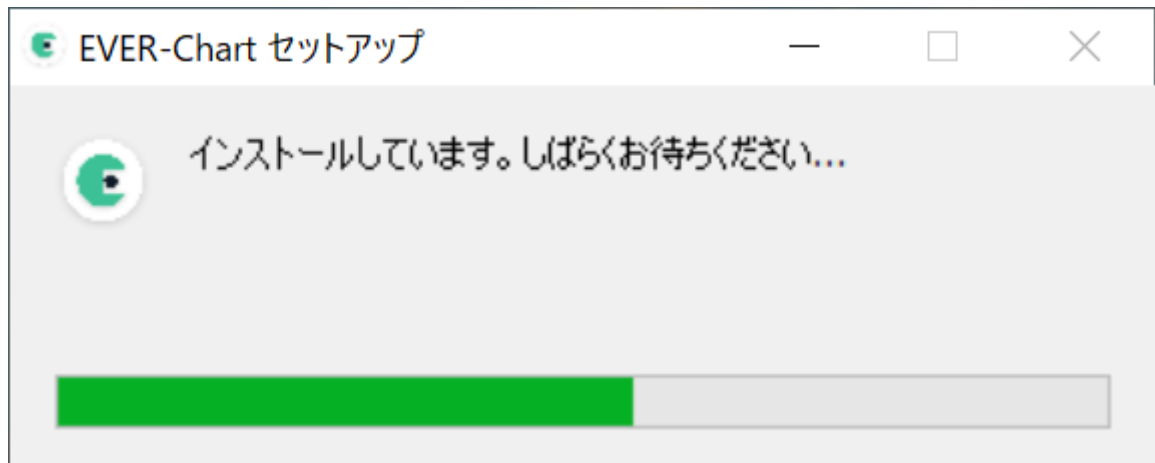


- Firefox の場合

「ダウンロードの進行状況」 から「ファイルを開く」 をクリックします。



4. インストールが始まります。



5. インストール完了すると、EVERチャートが起動します。
- 起動については「[起動方法](#)」をご確認ください。

macOS環境

1. 三菱UFJ eスマート証券のお客さまページより「投資情報」→「情報ツール」→「EVERチャート」をクリックします。

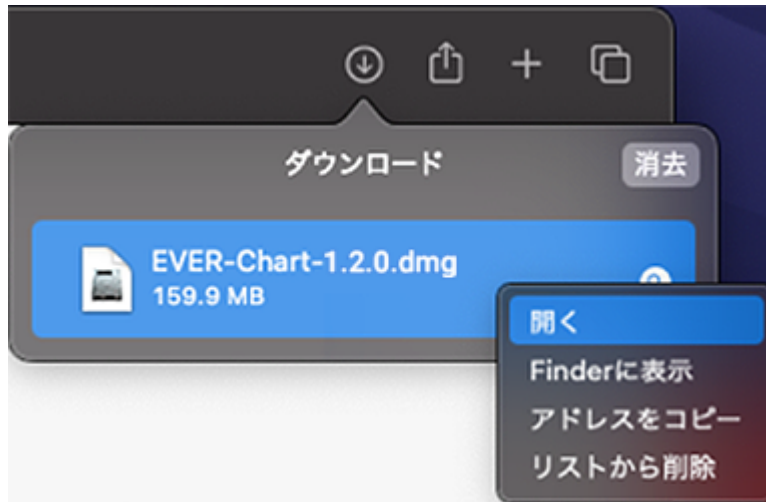


2. インストーラをダウンロードしてください。



3. ダウンロードが完了したら、画面上に表示されるダウンロードバーからインストールを開始してください。

- safariの場合
「実行」ボタンをクリックします。



- chromeの場合
「開く」をクリックします。

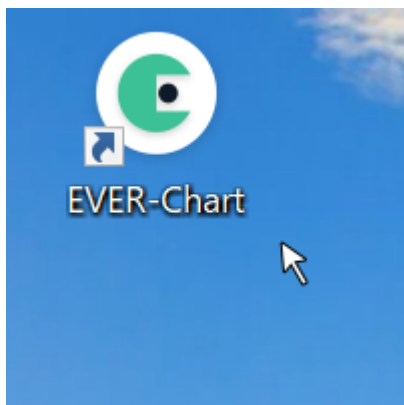


4. インストール完了すると、EVERチャートが起動します。
- 起動については「[起動方法](#)」をご確認ください。

起動方法

Windows環境

1. デスクトップに作成されたショートカットから起動します。



2. お持ちの三菱UFJ eスマート証券の口座番号／パスワードを入力し、ログインをクリックしてください。



- 認証に成功すると、「EVERチャート」が起動します。

macOS環境

1. Dockに作成されたショートカットから起動します。



2. お持ちの三菱UFJ eスマート証券の口座番号／パスワードを入力し、ログインをクリックしてください。



- 認証に成功すると、「EVERチャート」が起動します。

画面構成

本項では以下の項目について記載しています。

項目	
ホーム画面	ホーム画面についてです。
メニュー画面	メニュー項目についてです。

ホーム画面

表示イメージ



- 画像はEVERチャートの初期の画面構成です。

表示されている項目

#	表示項目	
1	メニューボタン	マウスクリック、またはキーボードの(M)を押下するとメニューが表示されます。
		詳細は メニュー にて確認できます。
2	ショートカットボタン エリア	各チャートを最小化した際にショートカットボタンが追加されます。
		アイコンをクリックすると各画面の表示が復元されます。
3	設定ボタン	EVERチャートの設定画面を開くことができます。それぞれの画面ごとの設定画面が開きます。
4	最小化ボタン	EVERチャートを最小化することができます。クリックすると2.ショートカットボタンエリアに追加されます。
5	最大化ボタン	EVERチャートを最大化することができます。それぞれの画面ごとに最大化ができます。
6	終了ボタン	EVERチャートを終了することができます。各画面は、それぞれの画面ごとに終了されます。
7	詳細画面エリア	「チャート」「銘柄リスト」などの画面を表示します。

メニュー画面

表示イメージ



- メニューには以下のボタンが表示されます。クリックすることでそれぞれの画面が開きます。
- カーソルキーを上下左右に移動することでも項目が選択できます。
- ショートカットキーとして()内のキーが登録されています。

表示されている項目

- メニュー (M)
 - [チャート](#) (C)
 - [銘柄リスト](#) (E)
 - [お知らせ](#) (A)
 - [シミュレーション](#) (S)
 - [操作ガイド](#)
 - [ライセンス](#)
 - [ログアウト](#)
 - [バージョン情報](#)

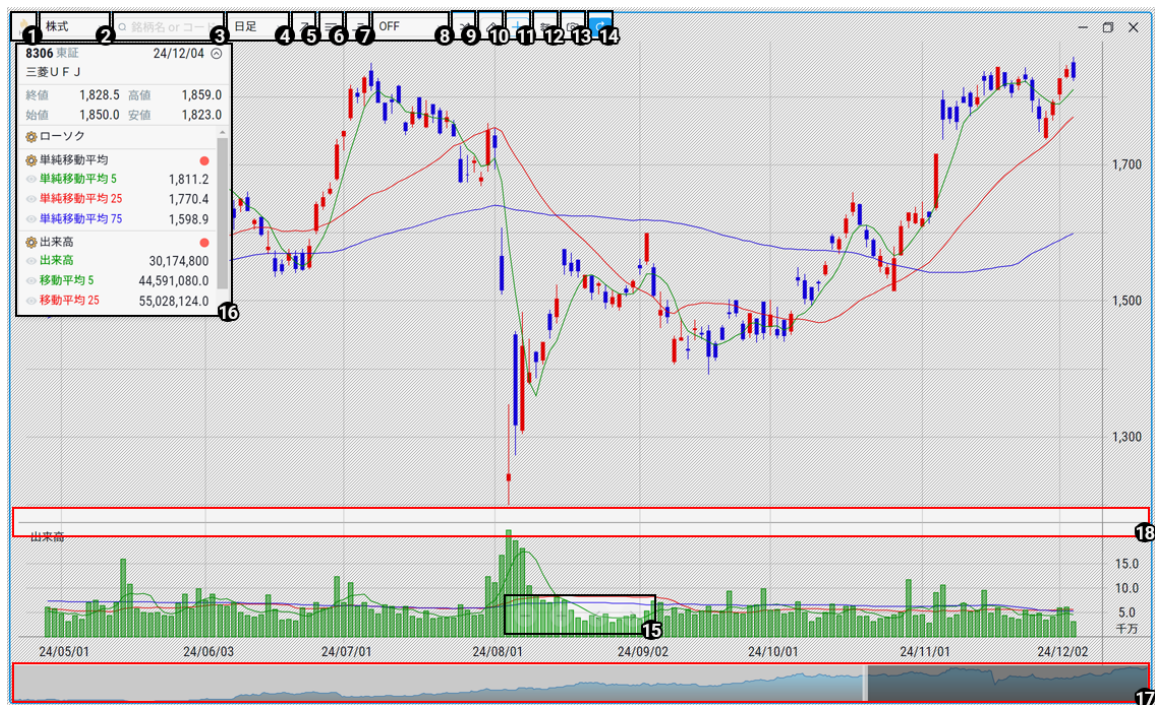
アプリケーションメニュー

本項では以下の項目について記載しています。

項目	
チャート	チャートについて記載しています。
設定画面	チャートの設定画面について記載しています。
銘柄リスト	銘柄リストについて記載しています。
シミュレーション	シミュレーション機能について記載しています。
お知らせ	クリックすると三菱UFJ eスマート証券のマイページへ遷移します。
操作ガイド	本文書です。PDF版についての案内もここで行っています。
ライセンス	EVERチャートで使用しているライブラリの著作権情報を表示します。
ログアウト	EVERチャートにログイン中の口座からログアウトが行えます。
バージョン情報	EVERチャートのバージョン情報について記載しています。
	サポートの際、バージョン情報をお伝えいただくとスムーズです。

チャート

表示イメージ



表示されている項目

#	表示項目	
1	HOT関係ボタン	チャートを銘柄リストと紐づけるか選択できます。
		ONの状態で銘柄リストから選択すると、表示しているチャートを該当の銘柄へ優先的に切り替えることができます。
2	商品種別	チャートを表示するための商品種別を選択できます。
3	銘柄	チャートを表示するための銘柄を選択できます。
4	足種別	チャートを表示するための足種別を選択できます。
5	チャート種別ボタン	チャートを表示するためのチャート種別を選択できます。
6	メインテクニカル（トレンドテクニカル）ボタン	メインチャート上に表示するテクニカルチャートを選択できます。
7	サブテクニカル（オシレーターテクニカル）ボタン	サブチャート上に表示するテクニカルチャートを選択できます。
8	比較モード選択ボタン	比較チャートのモードを選択します。
9	比較銘柄追加ボタン	比較する対象の銘柄を選択します。
10	描画ツールボタン	表示しているチャートの描画ツールのON/OFFを切り替えます。
11	クロスカーソル（数値読み取り線）ボタン	表示しているチャートのクロスカーソルの表示ON/OFFを切り替えます。
12	レイアウトボタン	テクニカルの表示や設定などをレイアウトとして保存したり、保存したレイアウトを読み込んでチャート画面に反映したりすることができます。
13	スクリーンコピー（チャート撮影）ボタン	表示しているチャートのスクリーンコピーができます。
14	手動更新ボタン	表示しているチャートの描画を更新することができます。
15	チャート操作ボタン	表示しているチャートの操作をすることができます。
		－：チャートを縮小します。
		＋：チャートを拡大します。
		<：チャートの日時を過去へ戻します。
		>：チャートの日時を現在へ進めます。

#	表示項目	
16	銘柄データウィンドウ	表示しているチャートに関するデータを表示します。
		指定している「日時」の「終値」「始値」「高値」「安値」を表示します。
		テクニカルを利用している場合、あわせて各テクニカルの詳細を表示します。
17	横スクロールバー	全期間の大まかな値動きをラインチャートで表示します。
		スクロールバーの大きさや位置に応じて、メインチャートの表示期間が変更できます。
		チャートを拡大／縮小するにはスクロールバーの両端をドラッグして大きさを調整してください。
		チャートを左右に移動するにはスクロールバーをスライドさせて位置を調整してください。
18	可変境界線	ドラッグしてメインチャートとサブチャートの縦幅を調整できます。

商品種別

- 商品種別は以下の通りです
 - 株式
 - 指数

足種別

- 足種別は以下の通りです
 - 1分足
 - 5分足
 - 10分足
 - 15分足
 - 30分足
 - 日足
 - 週足
 - 月足

チャート種別

- チャート種別は以下の通りです
 - ローソク
 - ライン
 - 新値足
 - 時系列新値足
 - 平均足
 - 陰陽足
 - カギ足
 - ポイント&フィギュア

- 逆ウォッチ曲線
- 騰落価格

- 騰落率
- バー

メインテクニカル

- メインテクニカル（トレンド テクニカル）は以下の通りです
 - 単純移動平均
 - 指数平滑移動平均
 - 多重移動平均
 - 加重移動平均
 - 出来高加重移動平均
 - 一目均衡表
 - 回帰トレンド
 - フィボナッチ・リトレースメント
 - フィボナッチ・タイムゾーン
 - ボリンジャーバンド
 - パラボリック
 - 移動平均エンベロープ
 - ピボット
 - 価格帯別出来高
 - ピークボトム
 - HLバンド
 - ケルトナーチャネル
 - 二重指数移動平均
 - カオスアリゲーター
 - VWAP
 - 現値ライン

サブテクニカル

- サブテクニカル（オシレーター テクニカル）は以下の通りです
 - 出来高
 - MACD
 - モメンタム
 - A/Dライン
 - ACオシレーター
 - オーサムオシレーター
 - ブルパワー
 - ベアパワー
 - RSI
 - ストキャスティクス
 - サイコロジカルライン
 - ADX
 - DMI
 - 強弱レシオ
 - 移動平均乖離率
 - ボリュームレシオ
 - RCI
 - ROC
 - CCI
 - Aroon
 - バランスオブパワー
 - デマーカー
 - RVI
 - ATR
 - ウィリアムズ%R
 - Ultimate Oscillator
 - 標準偏差
 - ボラティリティレシオ
 - Detrended Price Oscillator
 - レシオケータ
 - 陰陽サイコロジカルライン
 - 信用残
 - NT倍率
 - トレンドスコア

描画ツール

- 描画ツールは以下の通りです。
 - トレンドライン
 - 水平ライン
 - 垂直ライン
 - フィボナッチ
 - ペンタゴン

比較モード

- 比較チャートを開始するには比較モードを以下より選択してください。
- 比較チャートの横軸はメインで選択している銘柄が基準となります。
市場の異なる銘柄で日中足を表示した場合はデータの過不足が生じますのでご注意ください。
- 比較モード中は銘柄の自動切替機能が無効となります。

#	表示項目	
1	OFF	比較チャートを表示しません。
2	相対比較	チャート画面の左端を基準として各銘柄の騰落率を比較します。 メイン銘柄の左端に当たるデータが存在しない銘柄は、最古のデータを基準とします。
3	絶対比較	同じ価格軸で各銘柄の値動きを比較します。
4	倍率比較	2つの銘柄の終値の割合（基準銘柄の終値 ÷ 比較銘柄の終値）で比較します。
		基準銘柄のチャートは表示されません。

チャート設定

表示イメージ



表示されている項目

#	表示項目	
1	色変更ボタン	クリックするとカラーパレットが開き、チャートの色を変更できます。

トレンド／オシレーターテクニカル種別設定

表示イメージ（パラメーター画面）



表示されている項目（パラメーター画面）

#	表示項目	
1	パラメータースライダー	スライダーを移動させることで、テクニカルのパラメーターを変更できます。
		※選択したテクニカルにより、変更できるパラメーターが無い場合、本項目が無い場合があります。
		※「ケルトナーチャネル」について、切替ボタンにより計算に使用するSMA/EMAを変更することができます。
2	直接入力エリア	数値を直接入力して、パラメーターを変更できます。
		※以下のような無効な値を入力した場合は入力前の数値に戻ります。
		数値以外の文字、最小値未満／最大値超過の数値、未入力

表示イメージ（スタイル画面）



表示されている項目（スタイル画面）

#	表示項目	
1	色変更ボタン	クリックするとカラーパレットが開き、チャートの色を変更できます。

銘柄リスト

表示イメージ

The screenshot shows a software window titled '銘柄リスト1' (Stock List 1). It features a header bar with a title bar (1), a list of buttons (2, 3), and navigation buttons (4, 5, 6, 7, 8). Below the header is a table with columns for 'コード' (Code), '銘柄名' (Stock Name), '市場' (Market), and '比較' (Compare). The first row is highlighted, showing '830' in the code column, '三菱UFJ' in the stock name column, '東証' (Tokyo Stock Exchange) in the market column, and a compare button (9) in the compare column. The table lists several other stocks: 9983 ファストリ, 8035 東エレクト, 6857 アドテスト, 9984 S B G, 6367 ダイキン, 6954 ファナック, 4063 信越化, and 4543 テルモ.

コード	銘柄名	市場	比較
830	三菱UFJ	東証	⌂
9983	ファストリ	名証	⌂
8035	東エレクト	東証	⌂
6857	アドテスト	東証	⌂
9984	S B G	東証	⌂
6367	ダイキン	東証	⌂
6954	ファナック	東証	⌂
4063	信越化	東証	⌂
4543	テルモ	東証	⌂

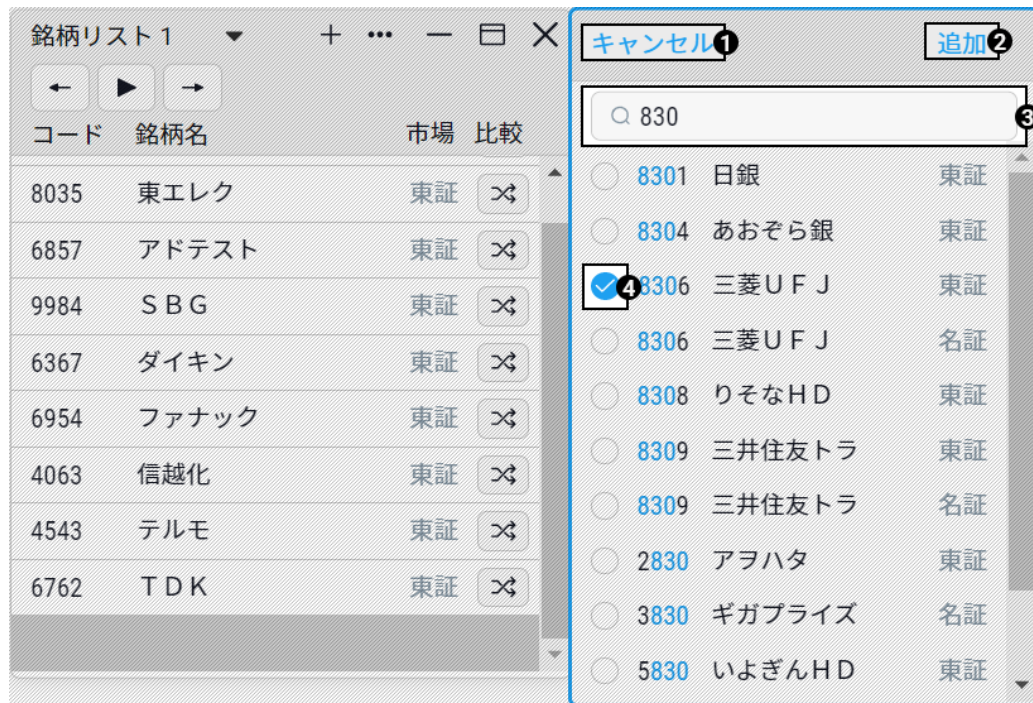
表示されている項目

#	表示項目	
1	リスト名ボタン	選択しているリスト名を表示します。
		クリックすると、銘柄リストの一覧を表示、切り替えることができます。
2	銘柄追加ボタン	クリックすることで銘柄リストの「 追加画面 」を表示することができます。
3	編集メニューボタン	クリックすることで銘柄リストの「 銘柄リスト名変更画面 」「 削除画面 」に切り替えることができます。
4	銘柄一覧	該当の銘柄リストに登録されている銘柄を一覧で表示します。
5	ソートボタン	クリックするたびに「コード昇順」「コード降順」「登録順」に並び替えを行います。デフォルトは「登録順」です。
6	前の銘柄ボタン	チャート画面の銘柄をハイライトされている前の行の銘柄に切り替えます。
7	自動切替／停止ボタン	チャート画面の銘柄を10秒間隔で表示しているリストで順に切り替えます。
8	次の銘柄ボタン	チャート画面の銘柄をハイライトされている次の行の銘柄に切り替えます。
9	比較銘柄追加ボタン	選択した銘柄を比較銘柄として追加します。

- 該当の銘柄を左クリックをすると、HOT連携しているチャートの銘柄を切り替えることができます。
 - HOT連携がない場合は、最後に使用したチャートが切り替わります。
- 銘柄コード欄をダブルクリックすると、直接入力することができます。
- 該当の銘柄を右クリックをすると、削除することができます。
- 該当の銘柄の市場欄をクリックすると、上場している市場を変更することができます。
- 該当の銘柄をドラッグ&ドロップをすることで、順序を並び替えることができます。

銘柄リスト（追加）

表示イメージ



表示されている項目

#	表示項目	
1	キャンセルボタン	銘柄を銘柄リストに追加することをキャンセルします。
2	追加ボタン	下の項目でチェックの付けた銘柄を銘柄リストに追加することができます。 ※ひとつのリストに追加できる銘柄は25件までです。
3	銘柄検索エリア	「銘柄コード」「銘柄略称」を入力することで、銘柄を検索することができます。
4	追加選択ボタン	クリックすることで銘柄リストに追加するか切り替えることができます。

銘柄リスト（銘柄リスト名変更）

表示イメージ



表示されている項目

#	表示項目	
1	リスト名入力欄	変更したい名称を入力できます。最大16字まで入力できます。
2	キャンセルボタン	1.リスト名入力欄に入力した文字を保存せずに、通常の銘柄リストへ戻ります。
3	変更するボタン	1.リスト名入力欄に入力した文字への変更を保存し、通常の銘柄リストへ戻ります。

銘柄リスト（削除）

表示イメージ



表示されている項目

#	表示項目	
1	一括削除ボタン	表示されている銘柄リストに登録されている銘柄を一括で削除できます。
2	完了ボタン	削除画面を完了し、通常の銘柄リストへ戻ります。
3	削除ボタン	銘柄リストに登録されている銘柄を個別に削除することができます。

シミュレーション

シミュレーションとは



自分で決めたストラテジー（取引ルール）に従って、過去のデータを用いてどの程度のパフォーマンスが得られるかをシミュレーションする機能です。

自身で設定した取引ルールの有効性を検証することができます。

シミュレーション 操作マニュアル

シミュレーションの手順

1. メニューより「シミュレーション」を選択します。
2. ストラテジー（取引ルール）を作成します。すでに作成済みのものがあればそれを選びます。
3. シミュレーションを実行します。
4. 結果を確認します。

1. メニューより「シミュレーション」を選択します。

（キーボードの「S」キーをタイプし起動することも可能です。）



2. ストラテジー（取引ルール）を作成します。すでに作成済みのものがある場合はそれを選びます。

2.1 画面左側にある、「+」ボタンをクリックします。



2.2 表示されるサンプルをクリックし、ストラテジーを選択し作成します。

シミュレーション

トレンド転換狙い

+

サンプルからストラテジーを選んでください

トレンド追従1
ストキャスティクス + ボリンジ...

トレンド追従2
単純移動平均 + ボリンジャーバ...

パーフェクトオーダー
単純移動平均

トレンド転換狙い
RSI + ボリンジャーバンド

トレンド転換逆張り
ストキャスティクス + MACD

デイトレ1
ストキャスティクス + RSI

デイトレ2
MACD + RSI

一目逆張り
一目均衡表

シミュレーションの条件を設定する

Q 銘柄名 or コード

5分足

8306 三菱UFJ 東証

シグナル

RSI

期間 14

✕

ボリンジャーバンド

期間 5

✕

+

✓ 買の条件を設定する

新規買

RSI

RSIが 30

を下回る

and

✓ 価格がボリンジャーバンド -2

σ

以下である

利益確定

○ 新規約定価格より 1.00 % 上がった/下がったら

or

RSI

RSIが 70

を上回る

and

○ 価格がボリンジャーバンド 2

σ

以下である

損失確定

2.3 シミュレーションで対象とする、銘柄および足種別を選択します。

シミュレーションの条件を設定する

Q 830

5分足

8301 日銀

東証

8304 あおぞら銀

東証

8306 三菱UFJ

東証

8306 三菱UFJ

名証

8308 りそなHD

東証

8309 三井住友トラ

東証

8309 三井住友トラ

名証

2830 アヲハタ

東証

3830 ギガプライズ

名証

設定後、右側のチャートが表示されます。



3. シミュレーション

3.1 サンプルで取り込んだストラテジーを元に条件を調整します。

シグナル

「+」ボタンをクリックし、取引の条件のもととなるテクニカル指標を選択します。

現在サポートしているテクニカル指標と条件は以下の通りです。

テクニカル指標	設定できる条件
単純移動平均	移動平均線のクロス
	現在の価格と移動平均線との関係
	パーフェクトオーダー
ボリンジャーバンド	標準偏差線との関係
MACD	MACDとシグナルとのクロス
RSI	RSI値の監視
RCI	RCI値の監視
ストキャスティクス	%Kと%Dとの関係
CCI	CCI値の監視
一目均衡表	現在の価格と雲との関係

- テクニカル指標の詳細な説明については以下をご確認ください。
 - [テクニカル分析ABC](#)（三菱UFJ eスマート証券のサイトを開く）

売買の条件

選択したシグナル（以下の画像の例では「RSI」）を組み合わせ、「売り」「買い」それぞれの新規取引条件、および決済取引条件を設定します。

すべての条件を設定することで、シミュレーションの実行が可能となります。

- 買の条件
 - 新規注文
 - 返済注文
 - 利益確定の条件
 - 損失確定の条件
- 売の条件
 - 新規注文
 - 返済注文
 - 利益確定の条件
 - 損失確定の条件

それぞれのシグナル条件をチェック・選択することで、判定の条件に使用されます。

新規注文、利益確定の条件については、選択した条件がすべて満たしている場合に取引が行われます。

✓ 買の条件を設定する

新規買

RSI

RSIが を下回る

and

☒ 価格がボリンジャーバンド σ 以下である

利益確定

☐ 新規約定価格より % 上がった／下がったら

or

☒ RSI

RSIが を上回る

and

☐ 価格がボリンジャーバンド σ 以下である

例	
新規買	RSIが30を下回る
	かつ 価格がボリンジャーバンド-2 σ 以下である
利益確定	RSIが70を上回る

損失確定については、選択した条件のいずれか一つでも満たしている場合に取引が行われます。

損失確定

or

☒ 新規約定価格より % 上がった／下がったら

☐ RSIが を下回る

☒ 価格がエントリー時のボリンジャーバンド σ を下回る

例	
損失確定	新規約定価格より4.00%の損失
	価格がエントリー時のボリンジャーバンド-3 σ を下回る

3.2 上記を設定し、「設定保存およびシミュレーション実行」をクリックします。

- 各銘柄の単元株数を発注数量としてシミュレーションを実行します。

☒ 価格がエントリー時のボリンジャーバンド -3 σ

を下回る

☒ 売の条件を設定する

新規売

設定保存およびシミュレーション実行

4. 結果を確認します。

シミュレーション完了後、画面右側のチャートに売買されたポイントが、右下に約定一覧が表示されます。また、「レポート」を選択することで、ストラテジーを評価できます。



ストラテジーの簡単な評価ポイント
以下の3つの成績を確認します。

- 合計損益（円）
取引損益の合計となります。
- 勝率
勝ちトレードと負けトレードの割合です。
- プロフィットファクター
利益 ÷ 損失の計算結果です。
 - 1より大きな数値であれば、ストラテジーが利益を出せていることを示します。
 - 1未満の場合は、シミュレーション期間における値動きに対して成果を出せていない、と判断できます。勝率が高くて、プロフィットファクターが低ければ、「小さく勝って大きく負ける」という評価となります。

その他の項目について	
未決済建玉損益（円）	シミュレーションの最後の取引が新規取引の場合、その建玉損益となります。
決済建玉損益（円）	シミュレーション期間全体の、決済損益となります。
トレード回数合計	決済取引が行われた回数です。
トレードあたり平均損益（円）	1トレードあたりの損益です。
最大プロフィット（円）	決済利益の最大値です。
最大ドローダウン（円）	最大の評価損失額となります。
一日平均損益	1日あたりの損益額換算値です。

シミュレーション結果表示中は条件を変更することはできません。

条件を変更するには「条件を再設定する」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリックすると結果がクリアされ、設定したストラテジーを見直して、再度シミュレーションを実行することができます。

☒ 価格がエントリー時のボリンジャーバンド -3 σ

を下回る

☒ 売の条件を設定する

新規売

条件を再設定する

シグナル解説

シミュレーションの期間

チャートの足、直近1,300本程度を対象としています。

銘柄によっては、足の本数が少なくシミュレーション結果が得られない場合もございます。

ゴールデンクロスとは

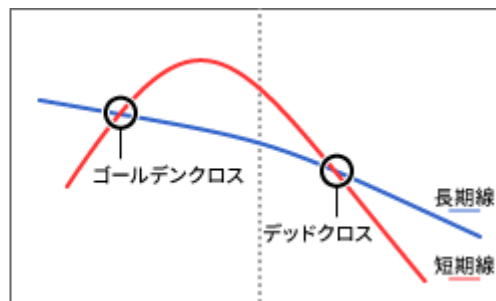
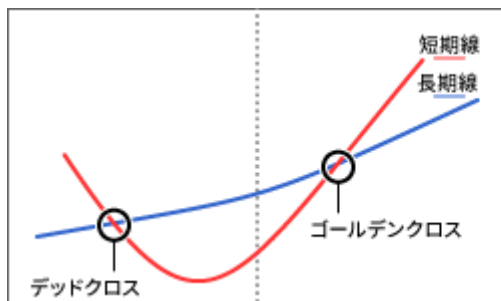
短期移動平均線がそれより長期移動平均線を上回ることを示します。

一般的には、「買い」のサインを示します。

デッドクロスとは

ゴールデンクロスとは逆で、短期移動平均線が、長期移動平均線を下回ることを示します。

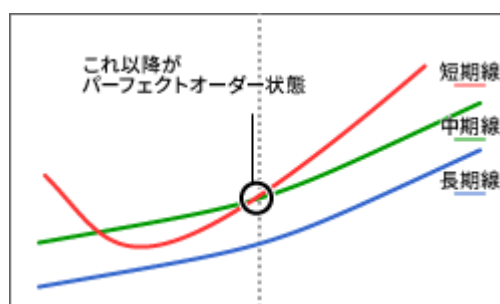
一般的には、「売り」のサインを示します。



パーフェクトオーダーとは

期間の異なる複数の移動平均線が以下のように並んでいることを示します。
相場のトレンドが強く長続きするものと判断されます。

	上昇トレンドの場合	下降トレンドの場合
上	短期移動平均線	長期移動平均線
中	中期移動平均線	中期移動平均線
下	長期移動平均線	短期移動平均線

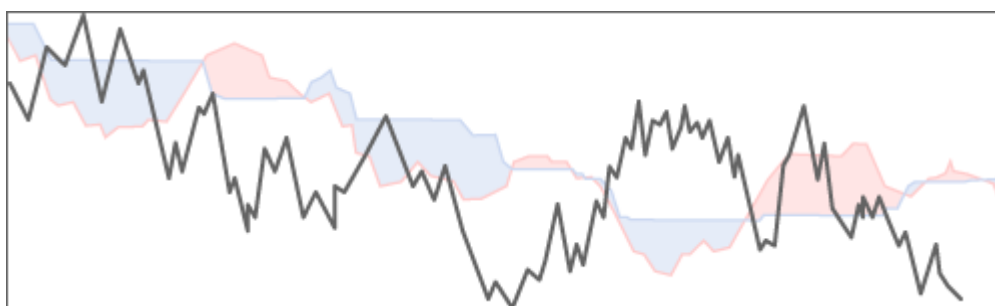


雲とは

「先行スパン1」と「先行スパン2」の二つの線に挟まれた部分のことで、相場の上値抵抗線や下値支持線としての役割をしています。

先行スパンについては、[第4回 一目均衡表とは](#)をご参照ください。（三菱UFJ eスマート証券のサイトを開く）

- 株価が雲の上で推移しているときは強気相場
- 株価が雲の下で推移しているときは弱気相場

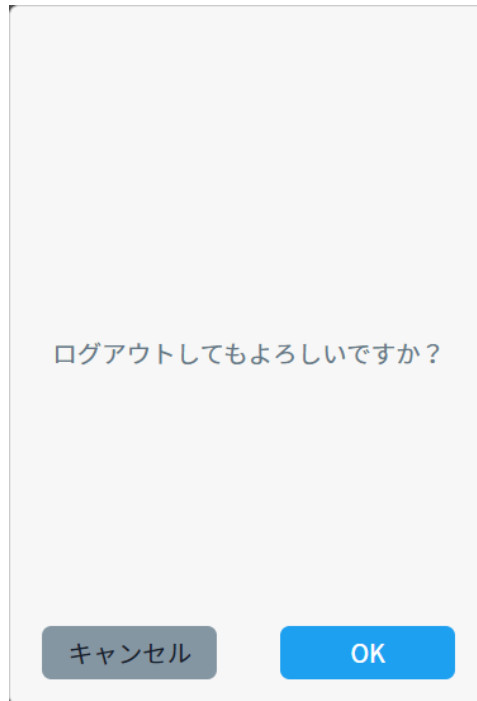


操作ガイド

- 本文書です。
- PDFで確認される場合はダウンロードしてください。（ウェブサイトでのみ表示）

ログアウト

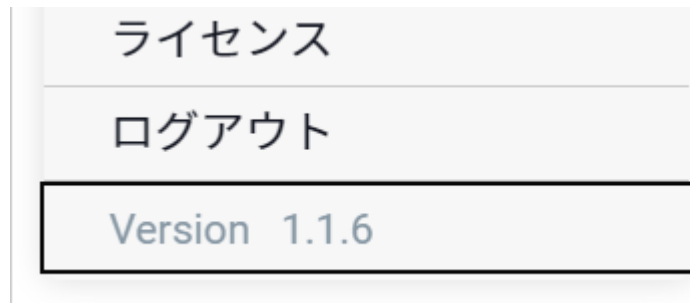
表示イメージ



- EVERチャートからログアウトができます。

バージョン情報

表示イメージ



表示されている項目

バージョン情報

- EVERチャート内のメニューの最下部に表示されています。
- 不具合があった際は、起こった症状とあわせてバージョン情報をサポートにお伝えください。

設定メニュー

本項では以下の項目について記載しています。

項目	
画面設定	EVERチャートの画面設定について記載しています。

画面設定

表示イメージ

画面設定

フォントサイズ

aA  Aa

背景カラー

☒ ライト

☐ ブルー

☐ ブラック

初期化

キャンセル

保存

表示されている項目

#	表示項目	
1	フォントサイズ	EVERチャート内のフォントサイズ「大/中/小」の変更ができます。
2	背景カラーボタン	背景カラーを「ライト/ブルー/ブラック」の中から変更できます。
3	初期化ボタン	「フォントサイズ」「背景カラー」の設定を、初期化することができます。
		※「初期化」ボタンをクリックしたあと、「保存」ボタンをクリックしない場合は適用されません。